

週刊「観光経済新聞」創刊70周年記念
論文コンテストの入賞作品を、10月3日
号から順次掲載しています。

創刊70周年論文コンテスト特別賞

新型コロナウイルス禍による自粛規制も一段落した日曜日の昼下がり、従業員が誰もいない、電灯も点いていないホテルのロビーで訪ねてくる友人を待っていた。数えきれぬほど多くの客を迎え、送られた空間はますます大きく感じられた。新型コロナウイルス禍が観光産業、中でも旅館経営に与えた影響はあまりにも大きい。眠れない夜を経験して意識は薄れはなかった。

「枝振りの良い松の木を見ておいたからね。」と、その友人は屈折のない口調で話を始めた。友人は私の知らない話で話した。友人が帰ったあと、真夏のよな日差しが差し込む窓辺のソファに座っている。友人の言葉は頭の巾着を通り過ぎていく。友人の言葉は、私の心にも届いていない。友人の言葉は、私の心にも届いていない。友人の言葉は、私の心にも届いていない。

なかつたのを幸いに野球にのめり込んでいない。父や母の希望もあって料理仕出して、料理に明け暮れる中、多岐にわたる仕事をこなす。料理仕出して、料理に明け暮れる中、多岐にわたる仕事をこなす。料理仕出して、料理に明け暮れる中、多岐にわたる仕事をこなす。

なかつたのを幸いに野球にのめり込んでいない。父や母の希望もあって料理仕出して、料理に明け暮れる中、多岐にわたる仕事をこなす。料理仕出して、料理に明け暮れる中、多岐にわたる仕事をこなす。料理仕出して、料理に明け暮れる中、多岐にわたる仕事をこなす。

私の旅館経営

近兼 孝休氏



【筆者略歴】昭和13年5月14日生。37年3月香川県立香川高等学校卒業。37年4月有限会社丸山設立、代表取締役。48年株式会社香川ホテル取締役。48年株式会社香川ホテル取締役。48年株式会社香川ホテル取締役。

立地条件と設備の悪さをカバーしている。当時の若い社員が就職を捨てて、この時代に新しい旅館を創出する。当時の若い社員が就職を捨てて、この時代に新しい旅館を創出する。当時の若い社員が就職を捨てて、この時代に新しい旅館を創出する。

「絶対にもっとお客が来る。」と、絶対にもっとお客が来る。絶対にもっとお客が来る。絶対にもっとお客が来る。絶対にもっとお客が来る。絶対にもっとお客が来る。